

事務事業名		広域連携観光振興事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	03 にぎわいあふれる商業・観光の推進		区分	
	基本事業名	03 観光宣伝の充実		単年度繰返	
根拠法令				※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	商工港湾部観光交流推進室		【開始年度】	
	課長名	森 正		-	
	係名	電話	0192-27-3111	-	
	担当者	佐々木 穂菜	内線	160	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
観光誘客は複数の自治体等による広域での取組が効果的であることから、関係市町村等で組織する団体が広域圏で実施する活動に対し負担金を交付する。主な活動内容は以下のとおり。 ・旅行商品の開発、商品造成のための商談 ・情報の提供、交換 ・観光宣伝キャンペーン ・パンフレットの作製、配付 主な業務は、①担当者会議への出席、②負担金の支出、③各種情報の交換、④観光キャンペーンの実施。 事業費は、負担金として支出される。 また、広域の取組として、三陸ジオパークの看板を設置する。事業費は委託料として支出される。				総投入量(千円)	
				事業費	0
				人員費	0
				トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
・負担金の交付(三陸復興国立公園協会、五葉山自然保護協議会、いわて観光キャンペーン推進協議会、公益財団法人岩手県観光協会、三陸ジオパーク推進協議会、三陸ジオパークけせん地域協議会)、各団体事業への協力。 ・ジオパーク解説看板の設置。(合足の津波石)		ア	会議出席回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
・前年度と同団体に追加、国立公園関係都市協議会への負担金交付。 ・ジオサイトの登録。(五葉山) ・五葉山自然保護協議会事務局は、釜石市と当市で2年毎の持ち回り。令和5・6年度は大船渡市が事務局となり事業を実施。 ・三陸ジオパークけせん地域協議会は、気仙地域の2市1町で2年毎の持ち回り。令和5・6年度は住田町が事務局となり事業を実施。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
広域観光関連団体		名称	
		カ	負担金を支払っている広域観光関連団体数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
広域観光関連団体に円滑に運営してもらう。 広域的な取組により観光客の拡大を図る。		名称	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	広域圏のイベント等を通じて大船渡市が紹介された件数
・大船渡市を訪れる。 ・魅力がPRされ、認知度が高まる。		シ	市内観光入込客数(年実績)
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	単位	年度						
			2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,903	2,820	2,671	2,294	2,294	2,294
	事業費計(A)		千円	2,903	2,820	2,671	2,294	2,294	2,294
	人員費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	180	180	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	720	720	800	800	800	800
		トータルコスト(A)+(B)		千円	3,623	3,540	3,471	3,094	3,094
⑤活動指標		ア	回	15	15	19	20	20	20
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	団体	7	7	6	7	7	7	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	件	20	25	41	45	46	47	
	シ	千人	430	484	584	640	797	817	
	ス								

事務事業ID	0446	事務事業名	広域連携観光振興事業
--------	------	-------	------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	各団体等の結成に伴い、負担金を交付した。開始年度は各団体の結成年度である。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年に三陸沿岸が日本ジオパークに認定されたことに伴い、三陸ジオパーク推進協議会が発足し当市も参加。平成27年には三陸復興国立公園の指定区域が、八戸市から石巻市までとなった。黄金王国推進委員会は平成27年度末に、東北都市観光協議会は平成28年度末に解散。</li> <li>五葉山石楠花荘改修は、平成29年度に設計、平成30年度に工事を実施。財源を五葉山自然保護協議会の構成市町村(大船渡市、釜石市、住田町)で負担することとし、財源確保策として、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」内のガバメントクラウドファンディングを活用し寄付を呼びかけた。</li> <li>気仙・気仙沼地域の県際広域観光推進研究会は、令和3年度より岩手・宮城県際広域研究会に統合されることとなった(構成員もほぼ同様のため)。</li> <li>令和5年度にみちのく潮風トレイルに関する協議会が設立された。</li> </ul>
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	広域における観光振興事業数は年々増加傾向にあるが、類似した事業や参加団体の重複もみられることから、統廃合等が必要であるとの意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由・内容 広域圏の魅力をPRして訪れてもらうことで、当市の観光振興につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由・内容 行政として観光振興施策を推進するための組織の負担金であるため。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由・内容 加盟している組織の負担金である。対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由・内容 減少していた三陸地方への観光入込客数は、東日本大震災により回復傾向を見せたが、復興需要の取束等により、観光客数や復興事業者を含む宿泊客数が減少傾向にあることから、広域的な観光PR等を行うことで、より効果的な誘客が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由・内容 市単独で効果的に観光客を受け入れることは難しく、広域で受け入れる必要があるため、広域連携した観光振興が行われなくなった場合、当市への観光客入込客数の減少等といった悪影響が考えられる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容 効果的な事業運営に努めることや、公平かつ合理的な会費制度とすることなどにより、削減の余地がある。大船渡市の観光資源がPRされる団体への活動に特化していくことも一つの進め方である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容 ・五葉山自然保護協議会については、2年毎に釜石市と交代で事務局を担当し、必要最小限の事務であり、削減の余地なし。 ・三陸ジオパークけん地域協議会については、2年毎に陸前高田市・住田町と交代で事務局を担当し、必要最小限の事務であり、削減の余地なし。 ・その他の組織については、調整や会議への出席、イベント当日の参加等が主な業務であり、それほど大きな事務量はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由・内容 組織の目的を達成するための負担金であり、適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×	広域連携の団体には、参加団体や事業内容が重複している団体もあることから、団体の統合について総会等の場で問題提起する必要がある。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体が効果的・効率的に事業を進められるよう、総会等において、必要に応じて、事業の見直しや、類似団体との統合等を提案していく。</li> </ul>